

週刊朝日 MOOK

独自調査
3733ホーム
一挙掲載!

「入居費用」と
「看取り実績」で決める

一生ボケない!
寝たきりにならない!
脳と身体の
健康
BOOK付



特別
付録

高齢者 ホーム 2014

「^{つい}終の^{すみ}住処」
選びの
決定版



現場ルポ
サービス付き
高齢者向け住宅の
光と影

チャートでわかる
高齢者の住まい基礎講座

「年金で入れる」
ホームの見つけ方

インタビュー
安藤優子さん
「親にホーム入居を
すすめる苦悩と決断」



全国
有料老人ホーム

3733 施設

全20項目
本誌独自
調査

ニーズに合わせて選択しよう！

「シンプルサ高住」と「手厚めサ高住」

サ高住で物件によって最も違う部分がサービスだ。必要最低限にするのか、手厚くしてそのぶん金額に反映させるのか。実際の2施設から、具体的なイメージをつかんでおこう。

住まいを選ぶ際に気になるのは、やはり費用だ。サ高住はターゲットとする入居者層によってさまざまなコンセプトの施設があり、サービス内容や立地条件などによって月額料金にも大きな差がある。料金は月額制が一般的で、通常の賃貸物件と同様に家賃と共益費、そしてサ高住独自の「基本サービス費」などといわれる見守りサービスの費用がプラスされる。ニーズや予算に合った物件を選び出すには、立地や広さ、設備などのハード面の条件に加え、自分にとって必要なサービスと不要なサービスをあらかじめイメージしておくことが重要だ。

取材し、サービスを比較した。東京都大田区にある「中央リハライブ」は、1階にデイサービス事業所を併設したサ高住だ。複数の在宅介護事業所を持つ有限会社「再」が経営している。

サ高住の基本サービス費は1万円を超えるのが一般的だが、こちらでは9千円と破格の安さで、家賃と共益費を合わせても9万6千円と非常に手頃な料金で住むことができる。

4階建ての建物は築2年と新しく、いちばん狭い部屋でも居室は28・87平方メートル。サ高住の居室の面積は原則25平方メートル以上と定められているが、この基準を上回る十分な広さがある。

中央リハライブでは朝夕1日2回の職員のインターホン越しの声かけによる安否確認、宅配物の預かりなどの簡易なフロントサービスを



シンプル

必要最低限のサービスでお手頃入居
中央リハライブ

家賃	8万1000円
共益費	6000円
生活支援サービス費	9000円
月額	9万6000円

所在地 東京都大田区田園調布南21-10

電話 03-6715-0525

総戸数 8戸

契約年数 2年契約(更新可)

生活支援サービス

- 安否確認
- 緊急時対応
- フロントサービス
(宅配物、郵便物の預かり、ごみ出しなど)
- 生活、健康管理、リハビリテーションに関する相談



(左上) 居室には緊急通報装置を設置。(右上) ペンダント型の通報機器も配布。(左下) オートロックも完備。(右下) 防犯カメラで各階ロビーなど共用部分の安全を確認

居室には押すだけで見守りスタッフにつながる緊急通報装置を設置。入居時には提携クリニックの医師と面談してカルテを作成し、緊急時にも適切な処置ができるようになっている。サポートが必要な面では援助するが、余計なお世かけいや干渉はせず、入居者に自立した生活を送ってもらうことを大切にしているという。

ス、生活や健康管理に関する相談を受け付けを提供している。

これらのサービスは専任の職員ではなく、1階にある介護事業所の職員が兼務する。事業所は土日もオープンしており、日中は追加コストをかけずに済むのが安さの秘密だ。夜間は職員が交代で宿直し、緊急時には近所の提携クリニックから医師が駆けつける態勢を整えている。施設の中に食堂を設けず、食事の提供はしていない点もコストダウンに貢献している。

入居者は80代が中心。最寄駅から徒歩6分という便利な立地もあり、要介護認定は受けていても買い物や料理は自分でできる、比較的元気なお年寄りが入居している。実際、有料老人ホームの手厚いサービスが煩わしいといって転居してきた入居者もいるほか、「ごみ出しぐらい自分でやる」とサービスを辞退する人もいるそうだ。

どのくらいのサービスが必要なのか考えたい

一方、観光スポットとしても人気の台東区浅草・浅草寺すぐそばにある「グレイプス浅草」は、最もコンパクトな部屋で31・36平方メートルと中央リハライブとさほど変わらないが、月額費用はほぼ倍額と

なる高額物件。「東京建物」の経営で、在宅介護事業者の「やさしい手」と提携しサ高住を運営している。

グレイプス浅草の自慢は、手厚い入居者サービスだ。日中は介護の専門資格を持つ「コンシェルジュ」と呼ばれるスタッフが生活相談に応じるほか、定期的に入居者と面談し、生活面の不安や健康状態などの聞き取りやアドバイスをを行っている。午後には看護師が常駐し健康相談にも応じるほか、希望者にはモニタリングコールをかけたり、家族に入居者の様子を定期的に報告するなど、きめこまかなサービスを提供している。

さらに、月額料金に1万5000円をプラスすると「介護サポートサービス」という手厚いオプションサービスを利用可能。食事の配膳、下膳、トイレ介助といった短時間の援助を受けられる。回数制限がなく、入居者の半数近くが利用する人気のサービスだという。契約は終身建物賃貸借契約なので、更新の必要がないのも魅力だ。「おせっかい」をしないシンプル物件と、至れり尽くせりのサービスが自慢の手厚め物件。自分に合った物件を選べば、快適なサ高住での暮らしを送れるはずだ。